



2021 年 10 月 29 日

2021 年度 第 3 四半期 決算レポート

1-9 月累計実績（対 2020 年 1-9 月）

- ・ 売上収益は 10.9%増の 1 兆 7,661 億円
- ・ 為替一定調整後営業利益は、21.9%増の 5,381 億円
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益は、23.0%増の 5,429 億円
- ・ 営業利益は、23.2%増の 4,807 億円
- ・ 親会社の所有者に帰属する四半期利益は、31.3%増の 3,388 億円

2021 年今回見込（対前回見込）

- ・ 売上収益については 800 億円の上方修正
- ・ 為替一定調整後営業利益は 620 億円の上方修正
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益（710 億円）及び営業利益（760 億円）を上方修正
- ・ 親会社の所有者に帰属する当期利益（580 億円）及びフリーキャッシュフロー（720 億円）を上方修正
- ・ 一株当たりの年間配当金予想は 140 円に上方修正

財務数値の詳細については P.17「データシート」を参照ください。

代表取締役社長 寺島 正道 CEO コメント:

“たばこ事業におけるモメンタムにけん引され、JT グループの第 3 四半期実績は非常に力強いものとなりました。特に、販売数量については、シェアの伸長に加え、渡航制限の影響が想定よりも長期化していることによる堅調な総需要動向により引き続き力強いものとなりました。

第 3 四半期までの力強い実績に加え、為替についてもポジティブに推移していることから、通期の業績予想を上方修正しております。業績予想の上方修正に伴い、年間の一株当たり配当金予想についても 10 円引き上げ、140 円としています。

なお、日本において販売を開始した Ploom X についても、お客様からご好評いただいております。一方、世界的な半導体不足により、デバイスの製造に引き続き制約を受けていることから、年内の Ploom X のデバイス供給については、すでに販売を開始している日本市場を優先します。引き続きシェア獲得に向けて取り組んで参ります。

2022 年 1 月からのたばこ事業一本化を通じ、新体制に移行することにより、事業基盤を強化することはもとより、よりアジャイルかつコンシューマーセントリックな組織へと進化してまいります。”

Ploom X：ブルーム・エックス

投資家説明会

投資家説明会（電話会議）は、2021年10月29日、東京時間 17時00分より行います。

投資家説明会資料等については、JTウェブサイトからご覧になれます。<https://www.jti.co.jp/investors/index.html>

超インフレ会計適用及びハイパーインフレーションに伴う調整について

当社グループは、2020 年度第 3 四半期より IAS 第 29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの 2021 年度実績及び見込は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績及び見込は、2021 年度第 1 四半期から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。

2021 年度 第 3 四半期 全社及び事業別実績

全社実績

(億円)	2020 年 7-9 月	2021 年 7-9 月	増減率	2020 年 1-9 月	2021 年 1-9 月	増減率
売上収益	5,619	6,215	+10.6%	15,921	17,661	+10.9%
調整後営業利益	1,539	1,847	+20.0%	4,415	5,429	+23.0%
営業利益	1,382	1,586	+14.8%	3,902	4,807	+23.2%
四半期利益（親会社所有者帰属）	855	1,136	+33.0%	2,579	3,388	+31.3%
為替一定ベース 調整後営業利益	1,539	1,730	+12.4%	4,415	5,381	+21.9%

2021 年 7-9 月

・ 売上収益

売上収益については、医薬事業及び加工食品事業での減収を海外たばこ事業及び国内たばこ事業の増収が上回り、前年同期比 10.6%増の 6,215 億円となりました。

・ 調整後営業利益

為替一定ベースの調整後営業利益については、医薬事業において減少したものの、海外たばこ事業、国内たばこ事業及び加工食品事業での増加により、前年同期比 12.4%増の 1,730 億円となりました。
財務報告ベースでは、海外たばこ事業において為替影響がポジティブに作用したことにより、前年同期比 20.0%増の 1,847 億円となりました。

・ 営業利益

営業利益については、調整後営業利益の増益により、前年同期比 14.8%増の 1,586 億円となりました。

・ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

四半期利益は、営業利益の増益及び金融損益の改善により、前年同期比 33.0%増の 1,136 億円となりました。

2021 年 1-9 月

・ 売上収益

売上収益については、医薬事業及び加工食品事業での減収を海外たばこ事業及び国内たばこ事業の増収が上回り、前年同期比 10.9%増の 1 兆 7,661 億円となりました。

・ 調整後営業利益

為替一定ベースの調整後営業利益については、医薬事業において減少したものの、海外たばこ事業、国内たばこ事業及び加工食品事業での増加により、前年同期比 21.9%増の 5,381 億円となりました。
財務報告ベースでは、海外たばこ事業において為替影響がポジティブに作用したことにより、前年同期比 23.0%増の 5,429 億円となりました。

・ 営業利益

営業利益については、調整後営業利益の増益により、前年同期比 23.2%増の 4,807 億円となりました。

・ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

四半期利益は、営業利益の増益及び金融損益の改善により、前年同期比 31.3%増の 3,388 億円となりました。

当社グループは、2020 年度第 3 四半期より IAS 第 29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの 2021 年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021 年度第 1 四半期から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。

事業別実績

海外たばこ事業

(億本、億円)	2020 年 7-9 月	2021 年 7-9 月	増減率	2020 年 1-9 月	2021 年 1-9 月	増減率
総販売数量	1,180	1,200	+1.7%	3,300	3,489	+5.7%
GFB 販売数量	770	817	+6.2%	2,132	2,352	+10.3%
自社たばこ製品売上収益 ¹	3,304	3,906	+18.2%	9,565	11,269	+17.8%
調整後営業利益 ¹	1,005	1,288	+28.2%	3,148	3,990	+26.7%
参考：ドルベース（百万ドル）						
自社たばこ製品売上収益 ¹	3,116	3,540	+13.6% (+6.6%*)	8,901	10,359	+16.4% (+11.7%*)
調整後営業利益 ¹	949	1,168	+23.1% (+16.2%*)	2,929	3,673	+25.4% (+25.0%*)

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

2021 年 7-9 月

・販売数量及び市場シェア²

総販売数量は、前年同期比 1.7%の増加となりました。ネガティブに作用した流通在庫調整影響を除いた総販売数量は、3 か月平均市場シェアの伸長、複数市場における堅調な総需要動向及び不法取引が低水準で推移していることにより、前年同期比 2.1%の増加となりました。市場シェアは、フランス・イタリア・ロシア・スペイン・トルコ・英国といった主要市場に加え、ブラジル・カナダ・チェコ・ドイツ・イラン・フィリピン・ポーランド・ルーマニア等の様々な市場で伸長しています。GFB 販売数量は、主にイラン・イタリア・ポーランド・トルコにおけるウinstonの伸長（+5.8%）及びロシアを中心としたキャメル伸長（+21.7%）により、前年同期比 6.2%の増加となりました。

・自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益¹

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、ポジティブな単価差/商品構成影響、販売数量の増加及び為替影響により、前年同期比それぞれ 18.2%、28.2%の増加となりました。

ドルベースの為替一定自社たばこ製品売上収益は、数量差影響+21 百万ドル及びカナダ・カザフスタン・フィリピン・ロシア・台湾・トルコ等の市場で発現した単価差/商品構成影響+184 百万ドルにより、前年同期と比べ 6.6%の増加となりました。ドルベースの為替一定調整後営業利益については、RRP カテゴリーにおける heated tobacco sticks に関する継続的な投資が一部相殺したものの、単価差/商品構成影響+180 百万ドル及び数量差影響+13 百万ドルにより、前年同期比 16.2%の増加となりました。

2021 年 1-9 月

・販売数量及び市場シェア²

総販売数量は、前年同期比 5.7%の増加となりました。ポジティブに作用した流通在庫調整影響を除いた総販売数量は、市場シェアの伸長、複数市場において渡航者数の減少により内需が拡大したこと及び不法取引の減少により、前年同期比 5.4%の増加となりました。市場シェアは、全ての主要市場に加え、オーストリア・ブラジル・カナダ・チェコ・ドイツ・カザフスタン・フィリピン・ポーランド・ルーマニア・シンガポール・ウクライナ等の様々な市場で伸長しています。GFB 販売数量は、ウinston（+9.8%）、キャメル（+23.6%）、メビウス（+2.8%）が伸長し、前年同期比で 10.3%の増加となりました。

• **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益¹**

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、数量差影響、単価差/商品構成影響及び為替影響がそれぞれポジティブに作用したことにより、前年同期と比べそれぞれ 17.8%、26.7%の増加となりました。

ドルベースの為替一定自社たばこ製品売上収益は、数量差影響+481 百万ドル及びカナダ・イラン・カザフスタン・フィリピン・ロシア・台湾・トルコ・ウクライナ等の市場で発現した単価差/商品構成影響+563 百万ドルにより、前年同期と比べ 11.7%の増加となりました。ドルベースの為替一定調整後営業利益については、単価差/商品構成影響+527 百万ドル及び数量差影響+325 百万ドルにより、前年同期比 25.0%の増加となりました。

**海外たばこ事業
クラスター別 四半期実績**

South and West Europe

(億本、百万ドル)	2020 年 7-9 月	2021 年 7-9 月	増減率
総販売数量	178	172	-3.4%
GFB 販売数量	151	146	-3.5%
自社たばこ製品売上収益	560	549	-2.0% (-2.8%*)

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

• **販売数量及び市場シェア²**

総販売数量及び GFB 販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 3.4%、3.5%の減少となりました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、複数市場におけるシェアの伸長により、前年同期と比べ 0.5%の増加となりました。3 カ月平均市場シェアは、ベルギー・フランス・ギリシャ・イタリア・オランダ・スペイン・スイスにおいて伸長しました。

• **自社たばこ製品売上収益**

自社たばこ製品売上収益は、フランス・スペインを中心に流通在庫影響がネガティブに作用したことから発現した数量差影響▲15 百万ドルにより、前年同期と比べ 2.0%の減少となりました。為替影響+5 百万ドルを除いた場合、前年同期比 2.8%の減少となりました。

• **市場別実績²**

フランスにおける流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、3 カ月平均市場シェアが伸長(+1.2 パーセントポイント)したものの、総需要が減少したことにより、前年同期比 4.1%の減少となりました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量、GFB 販売数量及び Fine Cut の販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 11.2%、10.1%、6.8%減少しました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ減少しました。1-9 月期の累計総販売数量は、前年同期比で 0.1%の減少となりましたが、流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、1.3%の増加となりました。また、GFB 販売数量は、前年同期と比べ 0.8%の増加となった一方、Fine Cut の販売数量は 3.6%の減少となりました。市場シェアは、ウィンストン及びキャメルが牽引し、前年同期と比べ 2.6 パーセントポイント増加し 28.7%になりました。

イタリアにおける流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、3 カ月平均市場シェアが伸長(+0.6 パーセントポイント)したものの、総需要が減少したことにより、前年同期比 0.6%の減少となりました。ポジティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量、GFB 販売数量及び Fine Cut の販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 5.0%、6.9%、6.8%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響により、前年同期と比べ増加しました。1-9 月期の累計総販売数量、流通在庫調整の影響を除いた総販売数量、GFB 販売数量及び Fine Cut の販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 4.4%、2.8%、6.6%、1.8%の増加となりました。市場シェアは、ウィンストンが牽引し、前年同期と比べ 1.1 パーセントポイント増加し 26.3%になりました。

スペインにおける流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、3ヵ月平均市場シェアの伸長(+0.4パーセントポイント)により、前年同期比 3.4%の増加となりました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量及び GFB 販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 14.9%、18.7%の減少となりました。Fine Cut の販売数量は、前年同期と比べ 3.2%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響により、前年同期と比べ減少しました。1-9 月期の累計総販売数量、流通在庫調整の影響を除いた総販売数量、GFB 販売数量及び Fine Cut の販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 2.7%、4.3%、3.3%、3.6%の増加となりました。市場シェアは、ウinston及びキャメルが牽引し、前年同期と比べ 1.2 パーセントポイント増加し、27.5%になりました。

North and Central Europe

(億本、百万ドル)	2020 年 7-9 月	2021 年 7-9 月	増減率
総販売数量	176	181	+2.6%
GFB 販売数量	94	101	+6.6%
自社たばこ製品売上収益	729	768	+5.3% (+1.4%*)

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

- 販売数量及び市場シェア²

総販売数量及び GFB 販売数量は、複数市場におけるシェアの伸長により、前年同期と比べそれぞれ 2.6%、6.6%の増加となりました。3ヵ月平均市場シェアは、チェコ・ドイツ・ハンガリー・アイルランド・ポーランド・スウェーデン・英国において伸長しました。

- 自社たばこ製品売上収益

自社たばこ製品売上収益は、ドイツ・ポーランド・英国等を中心に発現した数量差影響+6 百万ドル、単価差/商品構成影響+4 百万ドル及び為替影響+29 百万ドルにより、前年同期比 5.3%の増加となりました。為替影響を除いた場合、前年同期比 1.4%の増加となりました。

- 市場別実績²

ドイツにおける総販売数量、GFB 販売数量及び Fine Cut の販売数量は、3ヵ月平均市場シェアの伸長(+0.8パーセントポイント)により、前年同期と比べそれぞれ 6.9%、7.4%、4.2%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響により、前年同期と比べ増加しました。1-9 月期の累計総販売数量、GFB 販売数量及び Fine Cut の販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 6.9%、7.3%、4.2%の増加となりました。市場シェアは、ウinston及びキャメルが牽引し、前年同期と比べ 0.6 パーセントポイント増加し 9.4%になりました。

英国における総販売数量及び Fine Cut の販売数量は、総需要動向が引き続き堅調に推移したこと及び 3ヵ月平均市場シェアの伸長(+0.9パーセントポイント)により、前年同期と比べそれぞれ 4.1%、5.5%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響により、前年同期と比べ増加しました。1-9 月期の累計総販売数量及び Fine cut 販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 6.8%、10.1%の増加となりました。市場シェアは、紙巻たばこにおけるベンソン&ヘッジス及び Fine Cut におけるスターリングが牽引し、前年同期と比べ 1.0 パーセントポイント増加し 45.6%になりました。

CIS+

(億本、百万ドル)	2020 年 7-9 月	2021 年 7-9 月	増減率
総販売数量	341	343	+0.6%
GFB 販売数量	228	249	+9.0%
自社たばこ製品売上収益	779	876	+12.4% (+12.5%*)

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

• 販売数量及び市場シェア²

流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、複数市場における 3 ヶ月平均市場シェアの伸長及び堅調な総需要動向により、前年同期と比べ 0.2%の増加となりました。ポジティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量および GFB 販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 0.6%、9.0%の増加となりました。3 ヶ月平均市場シェアは、アゼルバイジャン・カザフスタン・ルーマニア・ロシア・ウクライナで伸長しました。

• 自社たばこ製品売上収益

自社たばこ製品売上収益は、カザフスタン・ロシア等を中心に発現した単価差/商品構成影響+66 百万ドル及び数量差影響+32 百万ドルにより、前年同期比 12.4%の増加となりました。為替影響▲1 百万ドルを除いた場合、前年同期比 12.5%の増加となりました。

• 市場別実績²

ルーマニアにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、3 ヶ月平均市場シェアの伸長(+0.6 パーセントポイント)により、前年同期と比べそれぞれ 2.8%、1.3%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。1-9 月期の累計総販売数量及び GFB 販売数量は、前年同期比それぞれ 7.3%、5.3%増加しました。市場シェアは、ウィンストン、キャメル及びソプラニーが牽引し、前年同期と比べ 1.1 パーセントポイント増加し 29.7%になりました。

ロシア³における流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、紙巻たばこが牽引した 3 ヶ月平均市場シェアの伸長(+1.0 パーセントポイント)により、前年同期と比べ 0.3%の増加となりました。総需要⁴は、増税値上げの影響が顕在化したことにより、前年同期と比べ 3.7%減少したものと推定しています。ポジティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量及び GFB 販売数量は、キャメルの伸長により、前年同期と比べそれぞれ 1.1%、16.8%の増加となりました。Ploom の HTS カテゴリ内シェアは、投資を着実に実行したことにより、前年同期と比べ 1.4 パーセントポイント増加し 2.6%になりました。なお、ロシアにおける Ploom X の発売は、半導体不足の影響により 2022 年上半期へ延期します。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。1-9 月期の累計総販売数量、流通在庫調整の影響を除いた総販売数量及び GFB 販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 4.8%、2.7%、17.3%増加しました。市場シェアは、前年同期と比べ増加し、36.7%になりました。

Rest-of-the-World

(億本、百万ドル)	2020 年 7-9 月	2021 年 7-9 月	増減率
総販売数量	485	504	+4.0%
GFB 販売数量	296	322	+8.9%
自社たばこ製品売上収益 ¹	1,047	1,347	+28.6% (+10.8%*)

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

• 販売数量及び市場シェア²

流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、3ヵ月平均市場シェアの伸長により、前年同期と比べ3.9%の増加となりました。ポジティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量及び GFB 販売数量は、ウィンストン及びキャメル伸長により、前年同期と比べそれぞれ 4.0%、8.9%の増加となりました。3ヵ月平均市場シェアは、ブラジル・カンボジア・カナダ・イラン・モロッコ・フィリピン・サウジアラビア・シンガポール・韓国・トルコで特に伸長しました。

• 自社たばこ製品売上収益¹

自社たばこ製品売上収益は、数量差影響▲2 百万ドルがあったものの、為替影響+187 百万ドル及びカナダ・フィリピン・台湾・トルコ等を中心に発現した単価差/商品構成影響+115 百万ドルにより、前年同期比 28.6%の増加となりました。為替影響を除いた場合、前年同期比 10.8%の増加となりました。

• 市場別実績²

イランにおける流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、総需要の増加及び 3ヵ月平均市場シェアの伸長(+2.3 パーセントポイント)により、前年同期と比べ 10.6%の増加となりました。ポジティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量及び GFB 販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 11.1%、18.9%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、前年同期と比べ減少しました。1-9 月期の累計総販売数量及び GFB 販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 9.9%、16.4%の増加となりました。市場シェアは、前年同期と比べ 0.3 パーセントポイント減少し、59.4%になりました。

台湾における流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う規制の強化により総需要が減少したことから、前年同期と比べ 7.9%の減少となりました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量は、前年同期と比べ 8.7%の減少となりました。GFB 販売数量は、前年同期と比べ 8.9%の減少となりました。3ヵ月平均市場シェアは、前年同期と比べフラットとなりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響がポジティブな単価差/商品構成影響を上回ったことにより、前年同期と比べ減少しました。1-9 月期の累計総販売数量、流通在庫調整の影響を除いた総販売数量及び GFB 販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 1.1%、0.5%、0.2%の増加となりました。市場シェアは、メビウス、LD、ウィンストンが牽引し、前年同期と比べ 1.0 パーセントポイント増加し、48.2%になりました。

トルコにおける流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、総需要が増加したこと及び 3ヵ月平均市場シェアの伸長(+1.2 パーセントポイント)により、前年同期と比べ 13.5%の増加となりました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量及び GFB 販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 13.0%、14.0%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。1-9 月期の累計総販売数量、流通在庫調整の影響を除いた総販売数量、GFB 販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 13.1%、13.8%、13.8%の増加となりました。市場シェアは、ウィンストンが牽引し、前年同期と比べ 0.9 パーセントポイント増加し、27.5%になりました。

¹ 当社グループは、2020 年度第 3 四半期より IAS 第 29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの 2021 年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021 年度第 1 四半期から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。

² 出典：IRI, Logista, Nielsen, Panel Strator 及び JTI 内部データ。特に言及がない限り 2021 年 9 月末時点の 12 ヶ月移動平均及び 3 ヶ月平均ベース

で、対象は紙巻たばこ及び Fine Cut。スヌースを除く。また、アゼルバイジャン・カンボジア・カナダ・ドイツ・ギリシャ・ハンガリー・イラン・イタリア・カザフスタン・オランダ・フィリピン・ルーマニア・ロシア・スペイン・英国に関するデータは 2021 年 8 月末時点の 12 カ月移動平均及び 2 カ月平均ベース。12 カ月移動平均及び 3 カ月平均市場シェアの増減算出の比較対象は前年同期末時点の 12 カ月移動平均及び 3 カ月平均ベース。

³2021 年 1-3 月期より、ロシアにおける販売数量及び市場シェアは、紙巻たばこ及び heated tobacco sticks を含みます。これに伴い 2020 年データについても同様に変更しています。

⁴出典：JTI 内部データ。紙巻たばこ及び heated tobacco sticks を対象とする 2021 年 7-9 月期の対前年同期比較。

国内たばこ事業

(億本, 億円)	2020 年 7-9 月	2021 年 7-9 月	増減率	2020 年 1-9 月	2021 年 1-9 月	増減率
紙巻総需要 ⁵	330	303	-8.2%	900	822	-8.7%
紙巻販売数量	199	181	-9.0%	540	490	-9.3%
自社たばこ製品売上収益	1,460	1,489	+2.0%	3,948	4,052	+2.6%
調整後営業利益	572	608	+6.3%	1,390	1,621	+16.6%

2021 年 7-9 月

紙巻販売数量

紙巻総需要⁵は、趨勢減に加え、RRP カテゴリの拡大及び 2020 年 10 月の定価改定等の影響により、前年同期比 8.2%の減少となりました。

当社の紙巻販売数量は、総需要の減少に加え、紙巻シェア⁵の減少により、前年同期比 9.0%の減少となりました。当社の紙巻シェア⁵については、RRP 製品への移行及びダウントレーディングによる低価格帯での競争激化により、前年同期比 0.5 パーセントポイント減の 59.7%となりました。

RRP 販売実績

国内たばこ市場における RRP 総需要⁶は、前年同期比 13 億本増の 127 億本となり、市場占有率は 29.5%（出荷ベース）と推計しています。

当社の RRP 販売数量は、前年同期比 1 億本増の 12 億本となりました。出荷ベースの当社の RRP カテゴリ内シェア⁵は 9.6%と推計しています。

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、紙巻単価上昇効果+138 億円及び RRP 関連売上収益の増加等が、紙巻販売数量の減少影響▲114 億円を上回ったことにより、前年同期比 2.0%の増収となりました。RRP 関連売上収益は、RRP 販売数量が増加したことにより、前年同期比 3 億円増の 170 億円となっております。

調整後営業利益は、紙巻単価上昇効果+138 億円が、紙巻販売数量の減少影響▲94 億円及び Ploom X 発売に伴う販促費増加の影響を上回ったことにより、前年同期比 6.3%の増益となりました。

2021 年 1-9 月

紙巻販売数量

紙巻総需要⁵は、趨勢減に加え、RRP カテゴリの拡大及び 2020 年 10 月の定価改定等の影響により、前年同期と比べ 8.7%の減少となりました。

当社の紙巻販売数量は、紙巻総需要の減少に加え、RRP 製品への移行及び紙巻シェア⁵の減少により、前年同期比 9.3%の減少となりました。

当社の紙巻シェア⁵については、RRP 製品への移行及びダウントレーディングによる低価格帯での競争激化により、前年同期比 0.4 パーセントポイント減の 59.6%となりました。

RRP 販売実績

国内たばこ市場における RRP 総需要⁶は、前年同期比 39 億本増の 344 億本となり、市場占有率は 29.5%（出荷ベース）と推計しています。

当社の RRP 販売数量は、前年同期比 4 億本増の 34 億本となりました。出荷ベースの当社の RRP カテゴリ内シェア⁵は 9.8%と推計しています。

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

自社たばこ製品売上収益は、紙巻単価上昇効果+394 億円及び RRP 関連売上収益の増加が、紙巻販売数量の減少影響▲320 億円等を上回ったことにより、前年同期比 2.6%の増収となりました。RRP 関連売上収益は、RRP 販売数量の増加により、前年同期比 37 億円増の 463 億円となっております。

調整後営業利益は、紙巻販売数量の減少影響▲266 億円があったものの、紙巻単価上昇効果+394 億円、RRP 関連売上収益の増加により、前年同期比 16.6%の増益となりました。なお、Ploom X への投資は着実に実施しております。

⁵ 出典：JT 推計。当社公表の紙巻総需要及び紙巻シェアには、紙巻たばこに加え、たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類されるリトルシガーが含まれております。

⁶ 出典：JT 推計。当社公表の RRP 総需要は、日本市場全体における RRP の本数ベース(1 パック当たり紙巻きたばこ 20 本として換算)の市場規模となります。デバイス/関連アクセサリ等は含まれません。

医薬事業

(億円)	2020年 7-9月	2021年 7-9月	増減率	2020年 1-9月	2021年 1-9月	増減率
売上収益	203	197	-2.6%	575	568	-1.3%
調整後営業利益	47	31	-34.9%	126	66	-47.6%

2021年7-9月

・売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、当社の連結子会社である鳥居薬品の増収があったものの、海外ロイヤリティ収入の減少等により、前年同期比 2.6%の減収となりました。

調整後営業利益は、売上収益の減収に加え、研究開発費や鳥居薬品における販管費の増加により、前年同期比 34.9%の減益となりました。

2021年1-9月

・売上収益及び調整後営業利益

売上収益及び調整後営業利益は、7-9 月期と同様の要因により、それぞれ前年同期比 1.3%の減収、47.6%の減益となりました。

加工食品事業

(億円)	2020年 7-9月	2021年 7-9月	増減率	2020年 1-9月	2021年 1-9月	増減率
売上収益	367	362	-1.4%	1,086	1,067	-1.8%
調整後営業利益	5	9	+78.2%	9	24	+175.4%

2021年7-9月

・売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、冷食・常温事業における一部品目の撤退影響及び緊急事態宣言等の影響を受けた冷食・常温ならびに調味料事業における外食向け製品の販売減少等により、前年同期比 1.4%の減収となりました。

調整後営業利益は、売上収益の減収があったものの、2021 年 1 月に発生した子会社の工場火災に係る火災保険金の受け取りや、ベーカリー事業における前年の減損に伴う償却費の減少等の販管費低減により、前年同期比 4 億円増となりました。

2021年1-9月

・売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、前年同期に一時的に増加した冷食・常温事業における家庭用製品の需要が相対的に減少したことや、冷食・常温事業における一部品目の撤退影響等により、前年同期比 1.8%の減収となりました。

調整後営業利益は、7-9 月期と同様の要因により、前年同期比 15 億円増となりました。

2021 年度 修正見込

全社見込

(億円)	2021 前回見込	2021 今回見込	対前回見込	対前年実績
売上収益	22,000	22,800	+800	+9.0%
調整後営業利益	5,170	5,880	+710	+20.8%
営業利益	4,020	4,780	+760	+1.9%
当期利益（親会社所有者帰属）	2,720	3,300	+580	+6.4%
フリーキャッシュフロー	3,830	4,550	+720	
為替一定ベース 調整後営業利益	5,220	5,840	+620	+19.9%

- **売上収益**

売上収益については、加工食品事業における下方修正はあるものの、海外たばこ事業及び医薬事業の上方修正を反映し、前回見込より 800 億円上方修正し、前年度比 9.0%増の 2 兆 2,800 億円を見込んでいます。

- **調整後営業利益**

為替一定ベースの調整後営業利益は、海外たばこ事業、医薬事業及び加工食品事業における上方修正を反映し、前回見込より 620 億円上方修正し、前年度比 19.9%の増加となる 5,840 億円を見込んでいます。

財務報告ベースの調整後営業利益は、上記に加え、為替前提を見直したことにより、前回見込より 710 億円上方修正し、前年度比 20.8%の増加となる 5,880 億円を見込んでいます。

- **営業利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益**

営業利益については、調整後営業利益を上方修正したことにより、前回見込から 760 億円上方修正し、前年度比 1.9%の増益となる 4,780 億円を見込んでいます。

親会社に帰属する当期利益については、営業利益の上方修正等により、前回見込から 580 億円上方修正し、前年度比 6.4%の増益となる 3,300 億円を見込んでいます。

- **年間の一株当たり配当金予想**

今回見込における当期利益の上方修正は、主に好調な事業パフォーマンスを反映したことにより、実施しています。

本年は、株主還元方針を変更した初年度であり、期初の一株当たりの配当金予想に基づく配当性向は 96.1%でしたが、当期利益水準が期初予想から大幅な上方修正となったことにより配当性向が 75%±5%程度の範囲を若干下回る見通しであることから、年間の一株当たり配当金予想を 10 円引き上げ、140 円に上方修正します。

- **フリーキャッシュフロー**

フリーキャッシュフローについては、調整後営業利益の上方修正及び設備投資の見直しにより、前回見込から 720 億円上方修正し、4,550 億円を見込んでいます。

当社グループは、2020 年第 3 四半期より IAS 第 29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの見込は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースについては、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。

事業別見込

海外たばこ事業

(億円)	2021 前回見込	2021 今回見込	対前回見込	対前年実績
総販売数量	横ばい	約 4%の増加		
GFB 販売数量	約 3%の増加	約 8%の増加		
自社たばこ製品売上収益 ⁷	13,600	14,400	+800	+15.1%
調整後営業利益 ⁷	3,770	4,420	+650	+29.7%
参考：ドルベース（百万ドル）				
自社たばこ製品売上収益 ⁷	12,500	13,250	+750	+13.0% (+9.6%*)
調整後営業利益 ⁷	3,480	4,060	+580	+27.6% (+28.2%*)

*為替一定ドルベース 対前年度増減率

● 販売数量

総販売数量及び GFB 販売数量は、複数市場において渡航者数及び不法取引の減少による内需の拡大が長引いたこと及び多くの市場におけるシェアの伸長により好調であった 1-9 月期の実績を反映し、それぞれ上方修正いたします。総販売数量及び GFB 販売数量は、前年度に比べそれぞれ約 4%、約 8%の増加となる見込みです。

● 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益⁷

円ベースの自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、1-9 月期の実績が好調であったこと及び為替前提の見直しがポジティブに作用したこと等から、前回見込みよりそれぞれ 800 億円、650 億円上方修正し、前年度比で 15.1%、29.7%の増加となる見込みです。

財務報告ベースのドルベース自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、主に 1-9 月期の実績がポジティブな数量差影響により好調であったこと及び為替前提の見直しにより、前回見込みよりそれぞれ 750 百万ドル、580 百万ドル上方修正します。

ドルベースの為替一定自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、前年度比でそれぞれ 9.6%、28.2%の増加となる見込みです。

⁷ 当社グループは、2020 年度第 3 四半期より IAS 第 29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの見込は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースについては、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。

国内たばこ事業

(億円)	2021 前回見込	2021 今回見込	対前回見込	対前年実績
紙巻総需要 ⁸	9%台前半の減少	8%台後半の減少		
紙巻販売数量	11%弱の減少	約 10%の減少		
自社たばこ製品売上収益	5,100	5,100	—	-1.1%
調整後営業利益	1,760	1,760	—	+4.7%

- **販売数量**

紙巻総需要⁸は、前年度比 9%台前半の減少から 8%台後半の減少に上方修正いたします。RRP の市場占有率については、前回見込から変更はなく、通年で約 30%としています。たばこ総需要⁸は、1-9 月までの総需要が底堅く推移した実績を反映し、前年度比 3%台後半の減少から 3%台半ばの減少に上方修正いたします。

当社の紙巻販売数量前提につきましては、紙巻総需要⁸の上方修正を反映し、前年度比 11%弱の減少から約 10%の減少に上方修正いたします。RRP 販売数量前提につきましては、前回見込からの変更はなく、40 億本台後半としております。

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

販売数量については上記の通り修正いたしましたが、自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、2021 年 10 月の定価改定後の競争環境を見極める必要があることから、前回見込から変更はなく、それぞれ 5,100 億円、1,760 億円を見込んでおります。

⁸ 出典：JT 推計。当社公表のたばこ総需要及び紙巻総需要には、紙巻たばこに加え、たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類されるリトルシガーが含まれております。

医薬事業

(億円)	2021 前回見込	2021 今回見込	対前回見込	対前年実績
売上収益	770	800	+30	+1.3%
調整後営業利益	70	100	+30	-41.7%

- 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、前回見込を上回る海外ロイヤリティ収入の増加や烏居薬品の増収を織り込み、30 億円上方修正し、前年度比 1.3%の増収を見込んでいます。

調整後営業利益は、売上収益の上方修正等により 30 億円上方修正するものの、研究開発費の増加等により、前年度比 41.7%の減益を見込んでおります。

加工食品事業

(億円)	2021 前回見込	2021 今回見込	対前回見込	対前年実績
売上収益	1,500	1,470	-30	-1.6%
調整後営業利益	30	35	+5	—

- 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、冷食・常温事業における家庭用製品の伸長を見込む一方、冷食・常温ならびに調味料事業における外食向け製品及びベーカリー事業において販売が想定よりも緩やかに回復していく見立てを反映し、30 億円下方修正し、前年度比 1.6%の減収を見込んでおります。

調整後営業利益は、売上収益の下方修正はあるものの、効率的な経費執行や、2021 年 1 月に発生した子会社の工場火災に係る火災保険金を織り込み、5 億円上方修正し、35 億円を見込んでおります。

データシート

2021年度 第3四半期実績（累計）

2020年度Q3よりIAS第29号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの2021年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021年度Q1から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。

1. 全社業績ハイライト

（単位：億円）

	2020 Q3累計	2021 Q3累計	増減	増減率
売上収益	15,921	17,661	+1,740	+10.9%
営業利益	3,902	4,807	+905	+23.2%
調整後営業利益	4,415	5,429	+1,014	+23.0%
税引前利益	3,456	4,638	+1,183	+34.2%
四半期利益	2,596	3,403	+807	+31.1%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	2,579	3,388	+809	+31.3%
基本的EPS*（円）	145.40	190.95	+45.55	+31.3%

*親会社の所有者に帰属する四半期利益を基に算定

（参考） 全社

（単位：億円）

	2020 Q3累計	2021 Q3累計	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	4,415	5,381	+965	+21.9%

2. 事業セグメント別実績

（単位：億円）

	2020 Q3累計	2021 Q3累計	増減	増減率
売上収益	15,921	17,661	+1,740	+10.9%
国内たばこ事業	4,252	4,348	+97	+2.3%
自社たばこ製品売上収益	3,948	4,052	+105	+2.6%
海外たばこ事業	9,987	11,663	+1,676	+16.8%
自社たばこ製品売上収益	9,565	11,269	+1,704	+17.8%
医薬事業	575	568	-8	-1.3%
加工食品事業	1,086	1,067	-19	-1.8%
その他	21	15	-6	-29.8%
全社 営業利益	3,902	4,807	+905	+23.2%
国内たばこ事業	1,268	1,382	+114	+9.0%
海外たばこ事業	2,761	3,584	+823	+29.8%
医薬事業	119	68	-51	-42.9%
加工食品事業	9	13	+5	+53.8%
その他/消去	-256	-241	+15	-
調整合計	-514	-622	-108	
国内たばこ事業	-122	-239	-117	
海外たばこ事業	-387	-405	-19	
医薬事業	-7	2	+9	
加工食品事業	0	-10	-10	
その他/消去	2	31	+29	
全社 調整後営業利益	4,415	5,429	+1,014	+23.0%
国内たばこ事業	1,390	1,621	+231	+16.6%
海外たばこ事業	3,148	3,990	+842	+26.7%
医薬事業	126	66	-60	-47.6%
加工食品事業	9	24	+15	+175.4%
その他/消去	-258	-272	-14	-

（参考） 海外たばこ事業 ドルベース

（単位：百万ドル）

	2020 Q3累計	2021 Q3累計	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	8,901	10,359	+1,458	+16.4%
為替一定自社たばこ製品売上収益	8,901	9,944	+1,043	+11.7%
調整後営業利益	2,929	3,673	+744	+25.4%
為替一定調整後営業利益	2,929	3,662	+733	+25.0%

2021年度 第3四半期実績（累計）

3. 減価償却費及び償却費*

（単位：億円）

	2020 Q3累計	2021 Q3累計	増減
全社 減価償却費及び償却費	1,204	1,251	+47
国内たばこ事業	398	375	-23
海外たばこ事業	703	782	+79
医薬事業	38	37	-1
加工食品事業	50	46	-4
その他/消去	15	11	-4

*リース取引に係る減価償却費を除く

4. 連結財政状態データ

（単位：億円）

	2020年12月末	2021年9月末	増減
資産合計	53,814	56,299	+2,485
資本合計	25,995	28,665	+2,670
親会社の所有者に帰属する持分	25,228	27,900	+2,672
1株当たり親会社所有者帰属持分（円）	1,421.92	1,572.28	+150.36

5. 手元流動性及び有利子負債

（単位：億円）

	2020年12月末	2021年9月末	増減
手元流動性	5,483	6,403	+920
有利子負債	9,589	9,670	+81

6. 連結キャッシュフロー・データ

（単位：億円）

	2020 Q3累計	2021 Q3累計	増減
営業キャッシュフロー	3,982	4,289	+308
投資キャッシュフロー	-436	-701	-265
財務キャッシュフロー	-2,082	-2,913	-832
現金及び現金同等物の期首残高	3,572	5,388	+1,817
現金及び現金同等物に係る換算差額等	-454	243	+698
現金及び現金同等物の期末残高	4,581	6,307	+1,725
FCF	3,381	3,506	+125

7. 資本的支出

（単位：億円）

	2020 Q3累計	2021 Q3累計	増減
資本的支出	743	646	-96
国内たばこ事業	128	127	-1
海外たばこ事業	405	409	+5
医薬事業	83	43	-40
加工食品事業	61	65	+4
その他/消去	67	2	-65

8. 為替

	2020 Q3累計	2021 Q3累計	増減	増減率
USドル/円	107.55	108.58	+1.03	1.0%安
USドル/RUB	70.69	74.01	+3.32	4.5%安
USドル/GBP	0.79	0.72	-0.07	9.1%高
USドル/EUR	0.89	0.84	-0.05	6.5%高
USドル/CHF	0.95	0.91	-0.04	4.3%高
USドル/TWD	29.79	27.97	-1.82	6.5%高
USドル/TRY	6.72	8.09	+1.37	16.9%安
USドル/IRR*	253,917	233,660	-20,257	8.7%高

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

*IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表をUSドルへ換算する際には、2020年9月末日及び2021年9月末日レートを適用。

また、USドルから日本円へ換算する際も同様のレートを適用。（2021年9月末日 USドル/円：111.92、2020年9月末日 USドル/円：105.80）

2021年度 修正見込
(2021/10/29公表)

2020年度Q3よりIAS第29号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの見込は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースについては、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法用いて控除しています。

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2020 実績	2021 修正見込	増減	増減率
売上収益	20,926	22,800	+1,874	+9.0%
営業利益	4,691	4,780	+89	+1.9%
調整後営業利益	4,870	5,880	+1,010	+20.8%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,103	3,300	+197	+6.4%

(参考) 全社

(単位：億円)

	2020 実績	2021 修正見込	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	4,870	5,840	+970	+19.9%

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2020 実績	2021 修正見込	増減	増減率
基本的EPS*	174.88	185.98	+11.10	+6.3%
1株当たり配当金	154	140	-14.00	-9.1%
ROE*	12.0%	12.2%	+0.3ppt	

*基本的EPS/ROEは親会社の所有者に帰属する当期利益を基に算定

3. 事業セグメント別売上収益

(単位：億円)

	2020 実績	2021 修正見込	増減	増減率
売上収益	20,926	22,800	+1,874	+9.0%
国内たばこ事業	5,556	5,500	-56	-1.0%
自社たばこ製品売上収益	5,157	5,100	-57	-1.1%
海外たばこ事業	13,062	15,000	+1,938	+14.8%
自社たばこ製品売上収益	12,508	14,400	+1,892	+15.1%
医薬事業	790	800	+10	+1.3%
加工食品事業	1,493	1,470	-23	-1.6%
その他	25	30	+5	+21.3%
全社 営業利益	4,691	4,780	+89	+1.9%
国内たばこ事業	1,518	1,150	-368	-24.3%
海外たばこ事業	2,964	3,890	+926	+31.2%
医薬事業	165	100	-65	-39.4%
加工食品事業	-8	25	+33	-
その他/消去	51	-385	-436	-
全社 調整後営業利益	4,870	5,880	+1,010	+20.8%
国内たばこ事業	1,681	1,760	+79	+4.7%
海外たばこ事業	3,409	4,420	+1,011	+29.7%
医薬事業	172	100	-72	-41.7%
加工食品事業	-8	35	+43	-
その他/消去	-384	-435	-51	-

(参考) 海外たばこ事業 ドルベース

(単位：百万ドル)

	2020 実績	2021 修正見込	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	11,724	13,250	+1,526	+13.0%
為替一定自社たばこ製品売上収益	11,724	12,850	+1,126	+9.6%
調整後営業利益	3,181	4,060	+879	+27.6%
為替一定調整後営業利益	3,181	4,080	+899	+28.2%

2021年度 修正見込
(2021/10/29公表)

4. FCF

(単位：億円)

	2020 実績	2021 修正見込	増減
FCF	5,039	4,550	-489

5. 資本的支出

(単位：億円)

	2020 実績	2021 修正見込	増減
資本的支出	1,129	1,120	-9
国内たばこ事業	211	240	+29
海外たばこ事業	666	670	+4
医薬事業	91	60	-31
加工食品事業	80	130	+50
その他/消去	82	20	-62

6. 業績予想の主な前提条件

- 国内たばこ事業
 - ・ 2021年の国内たばこ総需要(自社推計)：対前年で3%台前半の減少(2020年の国内たばこ総需要は推計1,550億本)
 - ・ 2021年の国内紙巻たばこ総需要(自社推計)：対前年で8%台後半の減少(2020年の国内紙巻たばこ総需要は1,149億本)
 - ・ 2021年のJT紙巻販売数量：対前年で約10%の減少(2020年のJT紙巻販売数量は687億本)
 - ・ RRP市場占有率(自社推計,出荷ベース)：2021年は通年で約30%(2020年は通年で約26%)
 - ・ 2021年のJT RRP販売数量：紙巻換算で40億本台後半
- 海外たばこ事業
 - ・ 2021年の総販売数量：対前年で約4%の増加(2020年の総販売数量は4,357億本)
 - ・ 2021年のGFB販売数量：対前年で約8%の増加(2020年のGFB販売数量は2,820億本)

<為替前提レート>

	2020 実績	2021 修正見込	増減	増減率
USドル/円	106.76	108.93	+2.17	2.0%安
USドル/RUB	72.07	74.00	+1.93	2.6%安
USドル/GBP	0.78	0.72	-0.06	8.3%高
USドル/EUR	0.88	0.84	-0.04	4.5%高
USドル/CHF	0.94	0.91	-0.03	3.2%高
USドル/TWD	29.47	28.00	-1.47	5.2%高
USドル/TRY	7.01	8.20	+1.19	14.5%安

2021年度 修正見込 vs 前回見込

(2021/10/29公表)

2020年度Q3よりIAS第29号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの見込は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースについては、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2021 前回見込	2021 修正見込	増減	増減率
売上収益	22,000	22,800	+800	+3.6%
営業利益	4,020	4,780	+760	+18.9%
調整後営業利益	5,170	5,880	+710	+13.7%
親会社の所有者に帰属する当期利益	2,720	3,300	+580	+21.3%

(参考) 全社

(単位：億円)

	2021 前回見込	2021 修正見込	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	5,220	5,840	+620	+11.9%

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2021 前回見込	2021 修正見込	増減	増減率
基本的EPS	153.29	185.98	+32.69	+21.3%
1株当たり配当金	130	140	+10.00	+7.7%
ROE（親会社所有者帰属持分当期利益ベース）	10.6%	12.2%	+1.6ppt	

3. 事業セグメント別売上収益

(単位：億円)

	2021 前回見込	2021 修正見込	増減	増減率
売上収益	22,000	22,800	+800	+3.6%
国内たばこ事業	5,500	5,500	-	-
自社たばこ製品売上収益	5,100	5,100	-	-
海外たばこ事業	14,200	15,000	+800	+5.6%
自社たばこ製品売上収益	13,600	14,400	+800	+5.9%
医薬事業	770	800	+30	+3.9%
加工食品事業	1,500	1,470	-30	-2.0%
その他	30	30	-	-
全社 営業利益	4,020	4,780	+760	+18.9%
国内たばこ事業	1,140	1,150	+10	+0.9%
海外たばこ事業	3,210	3,890	+680	+21.2%
医薬事業	70	100	+30	+42.9%
加工食品事業	20	25	+5	+25.0%
その他/消去	-420	-385	+35	-
全社 調整後営業利益	5,170	5,880	+710	+13.7%
国内たばこ事業	1,760	1,760	-	-
海外たばこ事業	3,770	4,420	+650	+17.2%
医薬事業	70	100	+30	+42.9%
加工食品事業	30	35	+5	+16.7%
その他/消去	-460	-435	+25	-

(参考) 海外たばこ事業 ドルベース

(単位：百万ドル)

	2021 前回見込	2021 修正見込	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	12,500	13,250	+750	+6.0%
為替一定自社たばこ製品売上収益	12,100	12,850	+750	+6.2%
調整後営業利益	3,480	4,060	+580	+16.7%
為替一定調整後営業利益	3,550	4,080	+530	+14.9%

2021年度 修正見込 vs 前回見込
(2021/10/29公表)

4. FCF

(単位：億円)

	2021 前回見込	2021 修正見込	増減
FCF	3,830	4,550	+720

5. 資本的支出

(単位：億円)

	2021 前回見込	2021 修正見込	増減
資本的支出	1,320	1,120	-200
国内たばこ事業	280	240	-40
海外たばこ事業	820	670	-150
医薬事業	60	60	-
加工食品事業	140	130	-10
その他/消去	20	20	-

6. 2021年度業績予想の主な前提条件の修正 (vs 2020年度実績)

国内たばこ事業	前回見込	修正見込
たばこ総需要*	3%台後半の減少	3%台半ばの減少
紙巻総需要*	9%台前半の減少	8%台後半の減少
RRP市场占有率*	約30%	
JT紙巻販売数量	11%弱の減少	約10%の減少
JT RRP販売数量	40億本台後半	

*JT推計、通年・出荷ベース

海外たばこ事業	前回見込	修正見込
総販売数量	横ばい	約4%の増加
GFB販売数量	約3%の増加	約8%の増加

<為替前提レート>

	2021 前回見込	2021 修正見込	増減	増減率
USドル/円	108.91	108.93	+0.02	0.0%安
USドル/RUB	74.00	74.00	-	-
USドル/GBP	0.72	0.72	-	-
USドル/EUR	0.83	0.84	+0.01	1.2%安
USドル/CHF	0.91	0.91	-	-
USドル/TWD	28.00	28.00	-	-
USドル/TRY	8.60	8.20	-0.40	4.9%高

<為替感応度>

前提レートからの為替変動が利益に与える影響：2021年調整後営業利益（修正見込）4,060百万ドル（算定ベース）

- ・ドルに対して円以外の全ての通貨が、2021年修正前提レートに対して同じ方向に1%変動すると、2021年ドルベース

AOPが約66百万ドル変動

<66百万ドル程度の変動を構成する主な通貨および内訳>

RUB 20%程度、GBP 15%程度、TWD 15%弱、EUR 10%程度、TRY 5%弱、CHF -10%弱

- ・円換算時は円がドルに対して1円変動すると、円ベース調整後営業利益が約41億円変動

たばこ事業データ

海外たばこ事業

1. サマリー（累計）

2020年度Q3よりIAS第29号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの2021年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021年度Q1から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。

	2020 Q3	2021 Q3	増減	増減率	
総販売数量	3,300	3,489	+189	+5.7%	億本
GFB販売数量	2,132	2,352	+219	+10.3%	億本
自社たばこ製品売上収益	9,565	11,269	+1,704	+17.8%	億円
調整後営業利益	3,148	3,990	+842	+26.7%	億円

[参考：ドルベース]

自社たばこ製品売上収益	8,901	10,359	+1,458	+16.4%	百万ドル
調整後営業利益	2,929	3,673	+744	+25.4%	百万ドル

為替一定ベース

自社たばこ製品売上収益	8,901	9,944	+1,043	+11.7%	百万ドル
調整後営業利益	2,929	3,662	+733	+25.0%	百万ドル

・クラスター別構成（前年同期比）

（億本/百万ドル）

財務報告ベース

2021	総販売数量		GFB販売数量		自社たばこ製品売上収益	
SWE	539	+4.1%	459	+5.6%	1,763	+10.2%
NCE	515	+8.5%	285	+14.4%	2,217	+17.6%
CIS+	965	+3.8%	690	+9.9%	2,387	+12.1%
RoW	1,470	+6.7%	919	+11.8%	3,992	+21.5%
Total	3,489		2,352		10,359	

2. クラスター/市場別 総販売数量（前年同期比）

2021	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	+2.0%	+14.5%	-3.4%		+4.1%
France	+16.6%	-4.3%	-11.2%		-0.1%
Italy	-6.0%	+16.4%	+5.0%		+4.4%
Spain	-8.8%	+41.4%	-14.9%		+2.7%
NCE	+11.6%	+12.4%	+2.6%		+8.5%
Germany	+13.7%	+0.9%	+6.9%		+6.9%
UK	+9.4%	+7.3%	+4.1%		+6.8%
CIS+	+8.8%	+3.1%	+0.6%		+3.8%
Romania	+2.2%	+18.2%	+2.8%		+7.3%
Russia*	+16.5%	-0.5%	+1.1%		+4.8%
RoW	+3.7%	+12.9%	+4.0%		+6.7%
Iran	+3.1%	+16.1%	+11.1%		+9.9%
Taiwan	+12.7%	+1.0%	-8.7%		+1.1%
Turkey	+0.4%	+26.2%	+13.0%		+13.1%
Total	+5.8%	+10.1%	+1.7%		+5.7%

*2021年Q1より、ロシアにおける販売数量は、紙巻きたばこ及びheated tobacco sticksを含みます。これに伴い2020年データについても同様に変更しています。

3. ブランド別 GFB販売数量（前年同期比）

（億本）

2021	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
Winston	412	448	461		1,321
	+9.4%	+14.5%	+5.8%		+9.8%
Camel	160	181	184		525
	+11.4%	+39.3%	+21.7%		+23.6%
MEVIUS	40	40	40		119
	+1.2%	+9.9%	-2.0%		+2.8%
LD	124	130	132		386
	+7.9%	-0.6%	-6.9%		-0.4%

たばこ事業データ

4. クラスタ/市場別 GFB販売数量 (前年同期比)

2021	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	+4.8%	+16.5%	-3.5%		+5.6%
France	+19.2%	-4.7%	-10.1%		+0.8%
Italy	-5.3%	+21.0%	+6.9%		+6.6%
Spain	-4.6%	+42.7%	-18.7%		+3.3%
NCE	+18.1%	+20.2%	+6.6%		+14.4%
Germany	+14.5%	+0.9%	+7.4%		+7.3%
UK	-12.4%	+0.5%	-13.8%		-8.3%
CIS+	+14.1%	+7.4%	+9.0%		+9.9%
Romania	+0.9%	+14.7%	+1.3%		+5.3%
Russia	+29.9%	+8.2%	+16.8%		+17.3%
RoW	+5.6%	+21.9%	+8.9%		+11.8%
Iran	+6.8%	+24.1%	+18.9%		+16.4%
Taiwan	+10.4%	+0.5%	-8.9%		+0.2%
Turkey	+1.3%	+26.5%	+14.0%		+13.8%
Total	+9.1%	+16.1%	+6.2%		+10.3%

5. 主要市場別シェア

	12ヶ月移動平均			3ヶ月平均				
	2020 9月	2021 9月	増減	2020 Q3	2020 Q4	2021 Q1	2021 Q2	2021 Q3
France	26.1%	28.7%	+2.6%ppt	27.6%	28.3%	28.8%	29.0%	28.8%
Italy	25.3%	26.3%*	+1.1%ppt	26.2%	26.0%	26.2%	26.5%	26.8%*
Russia**	36.6%	36.7%*	+0.1%ppt	35.8%	36.7%	36.7%	36.8%	36.8%*
Spain	26.3%	27.5%*	+1.2%ppt	27.0%	27.4%	27.5%	27.7%	27.5%*
Taiwan	47.2%	48.2%	+1.0%ppt	48.0%	48.5%	48.1%	48.1%	48.0%
Turkey	26.5%	27.5%	+0.9%ppt	26.5%	26.8%	27.5%	27.8%	27.7%
UK	44.6%	45.6%*	+1.0%ppt	45.3%	45.3%	45.4%	45.9%	46.2%*

Source: IRI, Nielsen, Logista, Panel Strator / 出典の過去データ修正も反映しています。

*2021年8月時点の、12か月移動平均および2か月平均を採用しています。

**2021年Q1より、ロシアにおける市場シェアは、紙巻きたばこ及びheated tobacco sticksを含みます。これに伴い、2020年データについても変更しています。

6. クラスタ別 為替一定自社たばこ製品売上収益 (前年同期比)

(百万ドル)

2021	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	543	570	545		1,658
	-0.5%	+15.7%	-2.8%		+3.7%
NCE	620	698	739		2,058
	+13.3%	+14.7%	+1.4%		+9.1%
CIS+	774	801	876		2,451
	+21.5%	+12.1%	+12.5%		+15.1%
RoW	1,331	1,286	1,160		3,777
	+17.1%	+16.7%	+10.8%		+15.0%
Total	3,268	3,355	3,321		9,944
	+14.0%	+15.0%	+6.6%		+11.7%

たばこ事業データ

7. 要因別 自社たばこ製品売上収益実績

2020年度Q3よりIAS第29号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの2021年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021年度Q1から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。また、ロードマップ上の為替影響には、従来の為替影響に加え、これらの影響も含みます。

・ドルベース		(百万ドル)				
		Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2020		2,866	2,918	3,116		8,901
	数量差	+214	+246	+21		+481
	価格差/Mix	+187	+192	+184		+563
2021 為替一定		3,268	3,355	3,321		9,944
	FX	+16	+179	+220		+415
2021		3,284	3,535	3,540		10,359

・円ベース		(億円)				
		Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2020		3,120	3,140	3,304		9,565
	Operations	+437	+471	+220		+1,127
	現地通貨 vs. 米ドル	+17	+193	+242		+452
	円 vs. 米ドル	-85	+68	+141		+124
2021		3,490	3,873	3,906		11,269

8. 要因別 調整後営業利益実績

2020年度Q3よりIAS第29号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの2021年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021年度Q1から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。また、ロードマップ上の為替影響には、従来の為替影響に加え、これらの影響も含みます。

・ドルベース		(百万ドル)				
		Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2020		956	1,025	949		2,929
	数量差	+148	+163	+13		+325
	価格差/Mix	+182	+165	+180		+527
	その他	+22	-101	-40		-119
2021 為替一定		1,308	1,251	1,102		3,662
	FX	-50	-5	+66		+11
2021		1,258	1,247	1,168		3,673

・円ベース		(億円)				
		Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2020		1,041	1,103	1,005		3,148
	Operations	+384	+244	+166		+794
	現地通貨 vs. 米ドル	-55	-5	+70		+10
	円 vs. 米ドル	-33	+24	+47		+37
2021		1,336	1,366	1,288		3,990

9. 実績為替レート (前年同期比)

2021	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
USD/ドル/RUB	74.34 10.8%安	74.22 2.8%安	73.47 0.2%高		74.01 4.5%安
USD/ドル/GBP	0.73 7.8%高	0.72 12.5%高	0.73 6.9%高		0.72 9.1%高
USD/ドル/EUR	0.83 9.4%高	0.83 9.4%高	0.85 1.0%高		0.84 6.5%高
USD/ドル/CHF	0.90 7.1%高	0.91 5.7%高	0.92 0.3%高		0.91 4.3%高
USD/ドル/TWD	28.07 7.3%高	27.99 6.9%高	27.86 5.4%高		27.97 6.5%高
USD/ドル/TRY	7.37 17.2%安	8.37 18.0%安	8.53 15.5%安		8.09 16.9%安
USD/ドル/IRR	*	*	*		*
USD/ドル/JPY	106.09 2.5%高	109.52 1.8%安	110.11 3.7%安		108.58 1.0%安

現地通貨 vs USD増減率: (前年同期の現地通貨レート/各期の現地通貨レート) -1で算出

円 vs USD増減率: (各期のレート/前年同期のレート) -1で算出

USD/IRRはEUR/IRR換算より算出

*超インフレ経済下にある子会社の財務諸表をUSDへ換算する際には、2020年9月末日及び2021年9月末日レートを適用。また、USDから日本円へ換算する際も同様のレートを適用。(2021年9月末日 USD/IRR: 233,660 USD/円: 111.92、2020年9月末日 USD/IRR: 253,917 USD/円: 105.80)

たばこ事業データ

国内たばこ事業

1. サマリー（累計）

	2020 Q3	2021 Q3	増減	増減率	
紙巻たばこ総需要（自社推計）	900	822	-78	-8.7%	億本
紙巻販売数量	540	490	-50	-9.3%	億本
紙巻販売数量には国内免税販売分・中国事業部分（2020年Q3実績：13億本、2021年Q3実績：13億本）およびRRP販売数量を含んでいません					
自社たばこ製品売上収益	3,948	4,052	+105	+2.6%	億円
調整後営業利益	1,390	1,621	+231	+16.6%	億円

2. 紙巻販売数量

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2020	172	170	199	147	687
2021	149	160	181		
前年同期比増減率	-13.3%	-5.7%	-9.0%		

3. 紙巻千本当売上収益

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2020	6,326	6,344	6,369	7,172	6,524
2021	7,155	7,174	7,134		

千本当売上収益 = {販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税（国税） - たばこ特別税（地方税） - たばこ特別税（国税）} / 販売数量 x 1,000

4. 四半期別RRP製品関連計数

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2021					
RRP販売数量	10	11	12		34
RRP関連売上収益	147	146	170		463

5. 要因別 財務実績

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
自社たばこ製品売上収益					
2020	1,258	1,230	1,460		3,948
紙巻数量差	-145	-62	-114		-319.8
紙巻単価差	+123	+133	+138		+394.5
RRP/その他	+4	+21	+5		+30
2021	1,241	1,322	1,489		4,052
調整後営業利益					
2020	432	386	572		1,390
紙巻数量差	-121	-51	-94		-266
紙巻単価差	+123	+133	+138		+394
RRP/その他	+45	+65	-8		+102
2021	480	533	608		1,621

6. 紙巻シェア（出典 自社推計）

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
JT Total					
2020	59.7	60.1	60.2	59.0	59.8
2021	59.5	59.5	59.7		
MEVIUS					
2020	28.9	28.8	28.9	27.4	28.6
2021	27.6	27.5	27.8		
Winston					
2020	7.3	7.3	7.3	7.1	7.2
2021	7.1	7.1	7.1		
Seven Stars					
2020	7.5	7.5	7.6	7.1	7.4
2021	7.4	7.3	7.5		
Natural					
American Spirit					
2020	2.0	2.0	1.9	2.1	2.0
2021	2.1	2.1	2.0		

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2021 年 10 月 29 日)

<自社開発品>

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階 (実施地域)	起源	備考
JTE-052 (delgocitinib)	乳幼児アトピー性皮膚炎 /外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase3 (国内)	自社品	・鳥居薬品と共同開発
	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用			Phase1 (国内)		
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化 するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応 を抑制する	Phase2 (国内)	自社品	
				Phase2 (海外)		
JTE-451	自己免疫・アレルギー疾患 /外用	RORγ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を 担うRORγを阻害し、過剰な免疫反応を 抑制する	Phase2 (国内)	自社品	
JTT-251	2型糖尿病 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するビルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化し、高血糖を是正する	Phase1 (海外)	自社品	
JTT-662	2型糖尿病 /経口	SGLT1阻害	SGLT1を阻害し、食後高血糖の是正及 び血糖値の正常化を行う	Phase1 (海外)	自社品	
JTT-861	慢性心不全 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するビルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化し、心機能を改善する	Phase1 (海外)	自社品	
JTE-061 (tapinarof)	アトピー性皮膚炎 /外用	AhR モジュレーター	アリル炭化水素受容体 (AhR) を活性化 し、皮膚の炎症を抑制する	Phase3 (国内)	導入品	・ Dermavant Sciences GmbH社から導入 ・鳥居薬品と共同開発
	尋常性乾癬 /外用			Phase3 (国内)		

(※) 開発段階の表記は投薬開始を基準としています。

(※) 掲載以外に、将来の剤型追加の可能性を検討するための臨床試験を行っています。

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	
抗ICOS抗体	AstraZeneca社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	
delgocitinib	LEO Pharma社 コート製薬社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	
enarodustat	JW Pharmaceutical社 Salubris社	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	

前回公表時 (2021年7月30日) からの変更点

- ・JTE-451 (自己免疫・アレルギー疾患/外用) : 国内 Phase2開始
- ・JTE-061 (アトピー性皮膚炎, 尋常性乾癬) : 国内 Phase3開始 (アトピー性皮膚炎, 尋常性乾癬)

用語の定義

用語	定義
調整後営業利益	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
為替一定ベース調整後営業利益（全社）	海外たばこ事業における当期の調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドル、ドル対円の為替レートを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
Reduced-Risk Products (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品
GFB (Global Flagship Brands)	Winston、Camel、MEVIUS、LD の 4 ブランド
総販売数量（海外たばこ事業）	水たばこ/E-Vapor 製品/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretek/加熱式たばこを含む
自社たばこ製品売上収益（海外たばこ事業）	物流事業/製造受託等を除き、水たばこ/RRP の売上を含む
為替一定ドルベース 自社たばこ製品売上収益/ 調整後営業利益 （海外たばこ事業）	当期の自社たばこ製品売上収益/調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドルの為替レートを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
たばこ総需要（国内たばこ事業）	日本市場全体におけるたばこ製品の本数ベースの市場規模（自社推計） RRP やリトルシガーを含む。
紙巻総需要（国内たばこ事業）	日本市場全体における紙巻たばこの本数ベースの市場規模（自社推計） リトルシガーを含み、RRP 等を含まない
RRP 総需要（国内たばこ事業）	日本市場全体における RRP の本数ベース（1 パック当たり紙巻たばこ 20 本として換算）の市場規模（自社推計） デバイス/関連アクセサリ等は含まない
紙巻販売数量（国内たばこ事業）	国内免税販売及び中国事業の販売分を除く、JT 紙巻たばこの販売本数 リトルシガーを含み、RRP 等を含まない。
RRP 販売数量（国内たばこ事業）	国内免税販売分を除く、JT の RRP の販売本数（1 パック当たり紙巻たばこ 20 本として換算） デバイス/関連アクセサリ等は含まない
リトルシガー（国内たばこ事業）	たばこ葉を原料とする巻紙を使い、紙巻たばこと同様の形態に巻き上げた製品。 たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類される。
自社たばこ製品売上収益（国内たばこ事業）	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/RRP、リトルシガー関連の売上を含む
RRP 関連売上収益（国内たばこ事業）	自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス/関連アクセサリ等を含む RRP の売上（国内免税販売分の売上を含む）
手元流動性	手元流動性 = 現預金 + 短期保有の有価証券 + 現先
有利子負債	有利子負債 短期借入金 + コマーシャルペーパー + 長期借入金 + 社債
FCF	FCF = 営業活動 CF + 投資活動 CF ただし以下の項目を除外 - 営業活動 CF から、リース取引から生じる減価償却費、利息及び配当金の受取額とその税額影響、リース取引以外から生じる利息の支払額とその税額影響、その他 - 投資活動 CF から、事業投資以外に係る、投資の取得による支出、投資の売却及び償還による収入、定期預金の預入による支出、定期預金の払出による収入、その他

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- （１）喫煙に関する健康上の懸念の増大
- （２）たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- （３）国内外の訴訟の動向
- （４）国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- （５）国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- （６）市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
- （７）買収やビジネスの多角化に伴う影響
- （８）国内外の経済状況
- （９）為替変動及び原材料費の変動
- （１０）自然災害及び不測の事態等

お問い合わせ先

日本たばこ産業株式会社 IR 広報部
東京都港区虎ノ門4-1-1

投資家の皆様はこちら：jt.ir@jt.com

メディアの皆様はこちら：jt-kouhou@jt.com